

令和6年度 部会報告（精神保健部会）

1 開催実績

精神保健・医療・福祉の各関係機関のネットワークを充実させ、地域の課題や情報を共有する機会として定例開催を実施。地域の中で参加者がそれぞれの所属や立場、役割を踏まえて、相互に顔の見える関係づくりを目指してきました。精神障がいを持つ方々も含めて、誰もが自分の意思や生き方が尊重され、地域社会の中で平等に権利も責任も尊厳も有する人として認め合い、社会の中で共生を実現できるためのソーシャルアクションの一翼となる活動に心がけてきました。

回	開催日	実施内容概要	参加数
1	令和6年5月15日	今年度の精神保健部会について 部会長の選任 新年度の情報交換	22人
2	令和6年6月19日	話題提供テーマ ピアサポーターより「私たちのリカバリーストーリーと日々の思い」情報交換	30人
3	令和6年7月17日	情報交換・事例を通じた意見交換や検討	22人
4	令和6年8月22日	【講演】定例会との合同開催 「がん治療医から見た精神障害と身体疾患のケアの協働」	43人
5	令和6年9月18日	情報交換・事例を通じた意見交換や検討	17人
6	令和6年10月16日	情報交換 グループワーク「ワールドカフェ」	22人
7	令和6年11月26日	十勝圏域精神障がい者地域生活支援事業・地域移行研修会及び 帯広地域自立支援協議会・精神保健部会開催	62人
8	令和6年12月18日	話題提供「自殺未遂者の継続支援について」	20人
9	令和7年1月15日	リモート（ZOOM） 開催情報交換・事例を通じた意見交換や検討	15人
10	令和7年2月19日	情報交換・事例を通じた意見交換や検討	19人
11	令和7年3月19日	今年度の振り返り 情報交換・事例を通じた意見交換や検討	22人

2 解決すべき課題

- ・地域の関係機関、関係者における医療（病院や訪問看護等）とのつながりや連携の在り方
- ・メンタルヘルスについての社会的な傾向を知り、自殺企図ある方への対応
- ・ピアサポーター、当事者の声や思いを知り、地域生活の中の生きにくさ、つながりの場を考える

3 実施・解決できたこと

地域ぐるみで支える体制や関係者同士が、定例の部会においてのつながりを通じて普段から顔の見える関係性を持って情報交換、日頃の相談や連絡を取りやすいネットワークを広げることができた。

当事者の目線でピアサポーターが参加し、グループワークを通じて話し合うことでそれぞれの立場から考えること、精神障がいに向き合う思いを共有する機会を持てた。

医療機関からの情報提供を受け、実態からみえる地域生活を支えることの難しさや、できうることの共有を図れた。

4 実施・解決できなかったこと

精神障がい理解を深めるようなきっかけづくり、地域に情報を伝えていくことの在り方を考えることができれば良いと考える。

5 令和7年度の取り組みの方向性

精神障がいについて、身近な地域の物事として理解が深められ、必要な情報を地域に向けての発信をするような議論を進めたい。不登校やひきこもり、教育やメンタルヘルスに係る各方面の関係者や当事者本人や家族等とのつながりについて、地域の中で当部会の在り方や開催実施方法を工夫しながら、何らかのアクションを起こすことを目指したい。